

平成 28 年 9 月 20 日



公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団  
Hosokawa Powder Technology Foundation



〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN  
[TEL] +81-72-867-1686 [FAX] +81-72-867-1658 [E-mail] contact\_zainfo@hmc.hosokawa.com [URL] www.kona.or.jp

## 第 50 回 粉体工学に関する講演討論会を東京で開催

【日時】平成 28 年 9 月 13 日（火） 午前 10 時 00 分～午後 6 時 30 分

【場所】東京マリオットホテル（東京都品川区北品川 4-7-36）

【主催】公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

【企画】粉体技術談話会

【後援】ホソカワミクロン株式会社

去る 9 月 13 日(火)に、「第 50 回 粉体工学に関する講演討論会」ならびに「ホソカワ粉体工学振興財団設立 25 周年記念特別講演会」が開催され、「豊かな未来社会を築く粉体技術」をテーマとして、さまざまな種類の材料を対象とした粉体工学・粉体技術の最前線について、6 名の講師の方々からご講演がありました。

最初に、細川悦男理事長より開会挨拶があり、今年はこの講演討論会が第 50 回、当粉体工学振興財団が 25 周年、そして本会を後援しているホソカワミクロン(株)が創業 100 周年を迎えたことに触れ、半世紀にわたってこの講演討論会を継続してこられたことに対する感謝の思いを伝えられました。さらに、今回の設立 25 周年記念事業として東京理科大学藤嶋学長の特別講演が行われることが紹介され、そして今後も引き続き本会に御愛顧を賜りたい旨が伝えられました。

講演の内容は、KONA 賞受賞記念講演の低炭素社会の電力供給を支える石炭火力技術から始まり、無機・バイオ中空ナノ粒子を融合した新治療戦略、ガラス状態粉体食品、そして超臨界水熱合成法を用いたナノ粒子の連続大量合成法と共に、粉体システムへの IoT の応用に関するものと幅広い材料・技術を対象として粉体技術の最新動向について講演されました。

その後、当財団設立 25 周年記念特別講演として東京理科大学藤嶋学長より「酸化チタン光触媒とダイヤモンド電極」について、酸化チタン光触媒機能の発見の経緯からその多方面にわたる応用の実例と発展の可能性ならびにダイヤモンド電極の作製法や特性について分かりやすくご解説頂きました。その後、来場者と講師の間で活発な質疑応答が行われました。

講演討論会の後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中で、講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。来場者数は 160 名近くとなり、会場は満杯状態となりました。次回(第 51 回)は、大阪での開催を予定しております。



講演討論会風景



特別講演風景